

お浄土がいのちの行方だからこそ、私は安心して生きられる

あなたの「生きる」を支えるお寺

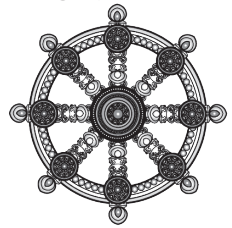
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.344



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス : purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

御正忌

一月十六日（木）
午前十時から午後一時まで
お勤め『正信偈和讃』
法話 純正寺住職
御斎 遺徳煮・お講汁

元旦会

一月二日（水）
午前十時から十一時まで
お勤め『正信偈和讃』
元旦法話 純正寺住職
乾杯 甘酒

除夜会

十二月三十一日（火）
午後六時から七時まで
お勤め『仏説阿彌陀經』
除夜法話 純正寺住職
お振舞い おぜんざい

1月24日（金）10:00~12:00 13:30~15:30

法話 彦根組清徳寺
こんき常例布教 野瀬 善隆 師

YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞いただけます。

住職法話

われかくのごとくきく
我劇如星

掲示板に思う「ゆく年くる年」

仏教伝道協会が毎年十二月に発表する、全国各地のお寺の掲示板の法語を募集して、秀でた法語に賞を与える「輝け！お寺の掲示板大賞」。2024年の各賞受賞法語から、ゆく年を振り返り、新しい年を歩み出したいと思います。

正義の反対は

別の正義

ロシアがウクライナに軍事侵攻して戦争状態になってから間も無く三年になります。それに加えて二〇二四年は、イスラエルとパレスチナが戦争状態になりました。その結果、パ

レスチナのガザ地区では何万人もの子どもや大人が殺されてしまいました。

しかもこの戦争により、イスラエルの隣国レバノンやイランとの緊張が高まっております、これがロシアとウクライナとの戦争とも繋がって、今やヨーロッパ諸国やアメリカ、中国や北朝鮮などのアジアも巻き込む、核兵器使用の可能性さえある、世界規模の戦争が懸念されています。

私たち人間は、何故戦争を起こしてしまうのでしょうか。それは、私たちが「正義」の心を持つからです。

正義とは、個人や集団が持つ共通した正しさです。しかし、この正しさは一通りではなく、その個人や集団によって違います。

その違った正義を持った個人や集団同士が向き合うとどうなるでしょう。こちら側の正義を貫くには、あちら側の正義を否定しなければなりません。お互いの正義が正義を否定し合う。これがついに戦争に発展してしまうのです。これが、正義の反対は別の正義ということです。

このことを、仏教では「善人ばかりだと争いが絶えない」と言い当てます。善人とは正義を持つ人のことです。では、どうすれば争いを起こさなくなるのでしょうか。

うか。それは、「愚者」の自覚です。戦争を起こしてしまう正義は、いわば人間の「理性と知性の思い上がり」です。

この思い上がりに気付かされて、自身の至らなさや愚かさを自覚していくところに、自分と違いを持つ他者を認めていく新しい立ち位置が見つかっていくのです。そして、この愚者という立ち位置は決して戦争の解決に大切なだけではありません。私たちが暮らす地域での人間関係も、同じ屋根の下で暮らす家族の関係も、全てこの立ち位置が大切なのです。そして、この立ち位置こそがお念仏を聞き称える生き方なのです。

しあわせは

築くもの

じゃなくて

気づくもの

皆さんは、この一年でどれほどのしあわせを感じられましたか。私は、それが「幸せ」ならばあまり感じられなかったかも知れません。例えば、この一年私は「ジャンボ宝くじ」を「連番」で何度も購入しました。目的は、もちろん「一等〇億円」です。それで結果はというと、全て「七等三百円」でした。

「幸せ」とは、自分にとって都合の良いものの好きなのを手に入れて、積み上げていく様なあり方でしょうか。そうになると、積み上げられている時はいいです

が、積み上げられないと気持ちいが沈み不幸を感じたり、都合の悪いものや嫌いなものが積み上がると腹が立つたり、また積み上げたものが壊れないかと不安になったりもします。これが「築く」幸せです。

でも、しあわせは「仕合わせ」と書くこともできます。「めぐり合わせ」という意味です。仕合わせは「幸せ」のように築き上げなければ喜べないものではありません。都合不都合どの様な出会いの中にも、何かしらかけがえのない意味が気づける様な生き方です。

「何もないことがしあわせなんです」と、仕合わせを喜べる様な日々を過ごしたものです。

望もうと

望むまいと

あなたは

独りじゃない

バブルの崩壊後、三十年もの長きに渡って続く経済の低迷状態。私たち日本人の経済格差は広がるばかりです。正社員よりも非正規雇用が多く、安定した職も収入も保証されない人が多い社会になっています。

この状況は、結婚を希望する人から結婚のチャンス奪い、結婚家庭内でも大人全員が働かなければ経済生活が安定せず、その結果子どもとのコミュニケーションの時間が充分に取れずに、家庭が崩壊していくというような状態を作ってしまったっているようです。

そして、人は自分が他者から認められる様にと、身体も心も人の気を引く「アクセサリー」で飾ろうとします。しかし、それは中々上手にはいかず、結局「私なんていなくなっても誰も悲しまないし困らない」と孤独に陥ってしまうのです。

しかし、仏教ではこの世に人として生まれてきたことも今生きていることも、限りないいのちの繋がりの「不思議」の結果なのだと教わります。何かができるとかできないとかの条件は関係なく、すなわち私が望むも望まないもなく、ありのままの私が独りではなく生かされているのです。そんな温かな「縁」を感じる一年でありたいものです。



年末~1月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



一年の締めくくり「除夜会」

31日(火)
18:00~19:00
年齢性別は問いません

色々あった一年を、お勤めと共に振り返り、共に豊かに年を越しましょう。おぜんざいのお振舞いも。

一年の計は・・・元旦会

1日(水・祝)
10:00~11:00
年齢性別は問いません

新しい年の始まりに、『正信偈和讃』を唱え聞いて、私のいのちの目的をはっきり確認しましょう。

宗祖の祥月命日「御正忌法要」

16日(木)
10:00~13:00
年齢・性別は問いません
親鸞聖人祥月命日のご縁。『正信偈』のおつとめの後は、住職の法話です。法要の後は、「遺徳煮」のお齋をご一緒にします。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

4日(土)・18日(土)
10:00~12:00
就学前・小・中学生対象

「らいはいのうた」のお勤めと、住職による「仏典童話」の読み聞かせがあります。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

13日(祝)・19日(日)
15:00~17:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

みんなの食堂ビハーラ

9日(木)・23日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

12日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

7日(火)・14日(火)・21日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう

「月例法話座談会」

20日(月)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません
日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

24日(金)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法の朋が出来る法座です。ご法話は、彦根組清徳寺住職の野瀬善隆師です。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽に相談下さい。

相談予約専用電話番号は、
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

今月のエコキャップ 一、六七〇、八〇四個

二〇二四年も、皆さんから沢山ののペットボトルのキャップをお預かりしました。十二月は五六七六個でした。